

TORIDE

此石

五城目消防広報誌

Vol.3

◆事故で閉じ込められた
要救助者を救い出せ！
交通救助訓練

◆万々に備える
救急情報医療シート

【特集】

消防団本部幹部インタビュー

考えます。地域と消防団で一緒に考えて、自分たちにできることから行動を起こしていく必要があるのではないのでしょうか。

千葉 先ほどもありましたが、子供会や青年会などの活動も少なくなり、地域のかかわりが希薄になっていくことから、これからの消防団は火消しだけではなく、安心安全を守る役割としてまだまだやるべきことがたくさんあると感じますね。良い緊張感を生む為にも大会や訓練を町内の方々にぜひ見に来ていただきたいです。

に立ち向かうために、団員一人一人のスキルアップが求められます。私たち消防団員は自分たちが住んでいる町に、地域貢献しているという思いが誇りとなっています。自己満足かもしれないですが、そんな人が増えてくれればと思います。

石川 各分団長をはじめ団員それぞれが消防団員として活動服に袖を通して、いる以上は責任があります。日ごろの訓練や点検は、同じことの繰り返しになります。災害は待つてくれません。いつ何時でも出動態勢を取るため、訓練を繰り返し、基本動作を身に付けて、団員全員の底上げを図りたいと考えます。また、町民から安心して頼られる消防団の実現

を目指します。

インタビュアー 青木編集委員長

幹部の皆さんの根本にある「地元を守りたい」という強い思いと、消防団の「時代に対応した変化」が求められていることについて、インタビュアーを通じてあらためて考えさせられました。団員の減少は全国的にも非常に深刻な問題です。団員確保に向けた対策が必要な一方で、消防団の在りかたそのものについても見つめ直す時に来ていることに違いはありません。地元のために当たり前のように頑張ってくれている消防団に感謝の意を込めて、これまで以上に地域全体で消防団について考え、また、応援していくことが私たちには必要なのではないのでしょうか。



消防団長 小玉 多智美



消防副団長 千葉 與右エ門



消防副団長 石井 巧



本部付分団長 石川 嘉博



【特集】
消防団本部幹部
インタビュー

消防団の現状と課題 求められる在りかた

消防団の現状と課題

小玉 消防団は「自らの地域は自らの手で守る」という郷土愛護の精神に基づき、地域の安心・安全を守るとともに、地域コミュニティの維持及び活性化にも大きな役割を果たしています。

さらに近年は多様化・大規模化した災害が相次いでおり、消防団員の確保に向けた取り組みが必要不可欠であると考えています。

千葉 同感です。消防団員数は205人の定数に対して現在172人（令和3年2月1日現在）ですが、この数字はあくまで表面上であり、実際には団員として登録していても活動できない団員も含まれています。団員数減少の理由には少子高齢化と勤務形態の変化があげられます。かつては専業農家が多く、日中の参集も可能でしたが、現在は兼業農家や町外に勤めている人がほとんどで時代の流れを感じています。

石井 私も人手不足が一番の課題と考えます。昨今は町内の行事も少なくなっており、若い世代との交流の機会が失われてきたと感じています。今後はもっと積極的に地域、町内を巻き込んだコミュニケーションを図っていききたいですね。

石川 私も町内の行事などを通して自然に地元を守りたいという気持ち意識付けられました。大館のまといや秋田市のカラー放水など、子どもたちが消防団への憧れを持つてくれるような行事を取り入れていけたらと思いますね。また、新入団員の確保を図りつつ、団員の規律・士気を向上させていかなければならないと考えています。

求められる在りかた

小玉 今まで以上に町、消防署と連携を強め、地域として、行政の足りない部分を補っていかなければならないと



五城目町消防本部の訓練紹介

GOJOME FIRE DEPT. FIRE RESCUE EMS



～交通救助訓練～

冬期間に増加する交通救助事案に備え、令和2年11月27日に交通救助訓練を実施しました。

車の構造や基礎知識を習得するための座学、廃車を利用した実技訓練を実施し、車内に閉じ込められた怪我人を救出するための方法を再確認しました。

迅速な救出は救命に直結するため、今後も救助技術の向上に努めます。

～救急情報医療シート～

救急情報医療シートとは、かかりつけ病院、持病などの情報や緊急時の連絡先をあらかじめ記入しておくことで、救急車を利用した際に円滑な救急活動につなげるためのものです。

居間や冷蔵庫、電話機の近くなど分かりやすい場所に保管し、救急隊にお渡しください。
※枚数が必要な場合はコピーしてもお使いいただけますし、消防署の窓口でも差し上げています。

救急情報医療シート		令和 年 月 日作成
救急情報		令和 年 月 日変更
心身状況	意識状態	
本人氏名	性別	
生年月日	年 月 日	性別 男 女
住 所	電話番号	
医療情報		
かかりつけ医	①	②
科別・診療科		
住 所		
電 話		
かかっている病状		
既往内容		
特記事項 (アレルギーなど)		
緊急連絡先		
氏 名	①	②
姓 名		
住 所		
電 話	(日中)	(夜間)
支援事業者		
担 当 者		
住 所	電話番号	
救急隊への伝言・その他		
上記の医療情報は、救急隊と緊急救命の医療機関が、救急医療に活用することに同意します。		
本人署名	サイン	

～編集後記～

第3号には、付録「救急情報医療シート」を折り込ませていただきました。家族の病歴、飲んでいるお薬等、正確な医療情報は意外と分からないものです。家族でお話をしながらシートを書き込み、あらためて家族を「知る」というのも大切な命を守る一つの備えになるものと思います。積極的なご活用をぜひお願いいたします。

